

留学生と語り合う No. 85

RKK ニュース (2021 年秋号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

RKK 留学生向けアンケート (Questionnaire for international students of RKK)

RKK ICT 推進委員会 (RKK ICT Promotion Committee)

コロナ禍中、およびコロナ終息後の RKK と留学生との交流活動の在り方について、活動方法を検討するために留学生の方々に経験、近況、意見などをアンケートし 28 件の回答をいただきました。委員会では次のように纏め RKK と留学生の交流を深めていきたいと願っています。

To consider how to conduct exchange activities between the RKK and international students during and after the Corona disaster, we sent a questionnaire form to the international students registered in RKK about their experiences, current situations, opinions, etc., and received 28 answers. The committee summarized the results as follows, hoping to deepen the exchange between the RKK and the international students.

アンケートについて委員会のコメント

- 1: オンライン利用が RKK の支援や交流では現状 75% であった。100% へ向けて RKK として対応方法の検討を進める。現下のコロナ禍においてはオンライン活用での交流が主流とならざるを得ない。
- 2: 留学生のオンラインの環境は整っている。
- 3: 現状、オンラインのみでの比率が高いが、希望としては対面とオンラインの組み合わせが良いとの評価である。コロナ禍終息後は、対面の良さとオンラインの良さを合体させるのが流れかと思われる。
- 4: 留学生は、オンラインに慣れているので、会議のホスト対応は可能である。留学生または RKK メンバーのどちらがホストをしても交流対応は問題ないと思われる。
- 5: 留学生が帰国後もオンラインでの交流を希望されていることは RKK にとって新しい課題である。
- 6: グループ討議 (留学生同士、留学生と RKK メンバー) の希望があるようなので、これは今後の RKK の課題かと思えます。

アンケート結果の分析は、今後実施予定です。
収集されたデータは次ページで掲載します。

Comments of the committee on the questionnaire results

1. The percentage of online use for the RKK's support and exchanges is currently 75% of the total. The RKK is working on ways to make it 100%. In the current Corona disaster, communication exchanges using online have to become the mainstream.
- 2: The online environment for the international students is in place.
3. At present, the ratio of online-only is high, but the assessment is that a combination of face-to-face and online is preferable. After the end of the Corona disaster, combining the benefits of face-to-face and online support may become to be the trend.
4. The international students are accustomed to the usage of online education and can host meetings. It is thought that either international students or RKK members can host the meeting.
5. It is a new challenge for the RKK to consider the request of the international students who want to stay in touch with the RKK by using online services even after returning to their home country.
6. There seems to be a request for group discussions (among the international students, between the international students and RKK members), so this will be an issue for the RKK in the future.

We will analyze the results of this questionnaire anytime soon.

The collected data are shown on the next page.

(Translated by T. M)

(アンケート結果)

<p>1. RKKの支援や交流にオンライン (ZOOM、TEAMS、MEET など) を利用したことがありますか？ * Yes 75% * No 25%</p> <p>2. 現在、日本語の学習支援をどのように受けていますか？ * 対面 7.1% * オンライン (ZOOM等) 60.7% * 対面とオンラインの組み合わせ 7.1% * メール (ライン含む) 25% * 電話 0% * 対面ができないので、最近では支援を受けていない 14.3% * その他 7.2%</p> <p>3. オンラインによる日本語レッスンを受けられる環境はありますか？ * Yes 92.9% * No 7.1%</p> <p>4. 対面とオンラインはどちらが良いですか？ * すべてオンラインが良い 25% * すべて対面が良い 14.3% * 対面とオンラインの組み合わせが良い 60.7% * その他 0%</p> <p>5. コロナ禍がほぼ終息した後はどの方法を望みますか？ * すべてオンラインが良い 3.6% * すべて対面が良い 39.3% * 対面とオンラインの組み合わせが良い 57.1% * その他 0%</p> <p>6. オンラインで使用するツールの希望はありますか？ * zoom 96.4% * teams 10.7% * meet 3.6%</p> <p>7. オンラインの場合、ホストとしてチューターを招待することはできますか？ * Yes 96.4% * No 3.6%</p>	<p>8. 帰国後 (一時帰国も含む) も、オンラインによる日本語学習の支援を希望しますか？ * Yes 96.4% * No 3.6%</p> <p>9. 日本語の学習支援とは別に、どのようなオンラインのイベントに参加したいですか？ * 留学生同士の交流 39.3% * グループ討議 (留学生同士、留学生とRKK会員など) 53.6% * 日本語スピーチ大会 17.9% * 作品展示会 28.6% * 社会・工場見学 3.6% (この回答例は、RKKにて制作したものを選択していただいたので、さらなる選択肢があるかもしれないと継続検討予定です。)</p> <p>10. これまでにRKKのどのような活動にオンライン (ZOOM、TEAMS、MEET など) を利用したことがありますか？ * 日本語学習支援 57.1% * 文化・ファミリー交流 10.7% * 社会・工場見学 0% * 中国語学習 7.1% * 利用したことはない 32.1%</p> <p>11. RKK会員皆さんと、通常、どのような方法で連絡していますか？ * メール (ラインを含む) 82.1% * オンライン (Zoomなど) 32.1% * 電話 28.6% * その他 3.6%</p> <p>アンケートに自由記入文章依頼が 2 項目あり、本稿では省略いたしました。今後そのデータを含めて検討してまいります。(複数回答を求めた為 100% を越えた項目があります。)</p> <p>アンケート調査ご協力ありがとうございました。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

会員募集中

留学生と一緒に国際交流を楽しみましょう。RKK では下記のプログラムを用意していますので、皆様のご希望に合わせて、留学生と様々な形で交流出来ます。

- ・日本語学習支援 (留学生と一対一で日本語の勉強、会話をします)
- ・文化・ファミリー交流 (フェスティバルを開催し、異文化交流を深めます)
- ・社会・工場見学 (工場見学、名所のハイキングに行きます)
- ・中国語学習 (留学生が先生となって中国語を勉強します)

RKKの活動に興味をお持ちの方は巻末のQRコードを読み取るか、[RKK NPO](#) で検索してRKKのホームページにアクセスしてください。会報や最近の行事案内などをご覧になれます。入会フォームはホームページ「入会案内」から入手できます。

留学生からのたより

ぶんかてき きょうつうてん おお にほん
文化的に共通点の多い日本に留学

慶応義塾大学 Nora Berlin(ノルウェー)

わたし なまえ けいおうぎじゅくだいがく ねんせい ねんまえ Norway にほん
私の名前はノラで、慶応義塾大学の3年生です。2年前にノルウェーから日本に
Scandinavia くに じんこう まんにん
来ました。ノルウェーはスカンジナビアの国で、人口は550万人しかいません。
Viking fiord aurora ゆうめい きょくたん きせつ
ヴァイキング、フィヨルド、オーロラで有名です。ノルウェーはまた、極端な季節
さむ し ほくぶ ふゆ たいよう ちへいせん のぼ じかん
と寒さでも知られています。北部の冬は、太陽が地平線から昇ることはなく、24時間
くらやみ つづ なつ ぎやく たいよう で
の暗闇が続きます。しかし、夏はその逆で、24時間太陽が出ています。



私は、日本もノルウェーも美しい季節と自然があると 생각합니다。

ノルウェーと日本の国土面積はほぼ同じです。しかし、多くのフィヨルドがあるため、世界で2番目に大きな海岸線を持っています。こんなに小さな国なのに、中国

に次いで世界第2位の魚の輸出国なのです。サーモンの寿司がノルウェーで生まれたことをご存知でしょうか？
1980年代に日本に紹介され、ノルウェーと日本の関係を示す良い例となっています。最近では、日本に興味を持つ
ノルウェー人が増えています。ノルウェーにはマクドナルドの4倍の数の寿司屋があります。また、大人気の日本酒
bar やラーメン店もあります。私は北極線の上でラーメンを食べたことがあります。また、多くの若者が日本語を
べんきょう かんが がくしかてい もっと にんき ぶんけい program
勉強したいと考えています。日本の学士課程は、この国で最も人気のある文系プログラムのひとつです。2つの
国はとても離れていますが、文化的には多くの共通点があると思います。パンデミックの後は、ぜひノルウェーに
あそ 遊びに来てください。(原文のまま)

にほんりゅうがく で あ
日本留学での出会い

横浜国立大学 金芸穎(中国)

2019年の9月に来日し、1年間の受験勉強を終えて、2021年4月
よこはまこくりつだいがくたいがくしん けいざいがくせんこう にゅうがく さいしよ
に横浜国立大学大学院の経済学専攻に入学しました。最初の1年間は
ごうかく もくひょう じっさい にほん しゃかい と こ
大学院の合格のみを目標とし、実際に日本の社会に飛び込んで、
にほんじん こうりゅう ぶんか まな きかい
日本人との交流や日本文化の学びなどの機会がありませんでした。
りゅうがく せつかくのりゅうがく せつかくのりゅうがく
せつかくの留学だし、もっと日本のことを深く知りたいという思い
で、学生会員としてRKK入会に申し込みました。そこで、チューター
がくせいかいいん もう こ tutor
である大久保さんと初めて出会うことができ、毎週一回ニュース
おおくぼ はじ て あ まいしゅういっかい news
記事を読んで、一緒に内容について議論することによって、楽しく
きじ よ いっしょ ないよう ぎろん たの
日本語を学んでいます。また、就活に関しても先輩留学生である馬
しゅうかつ かん せんぱい
さんを紹介していただいたり、金融業界の講座にも案内していただいたり、就職活動における自分の視野
しゅうしよくかつどう じぶん しゃ
も広げることができました。



(左から): 馬さん、大久保さん、金さん

それだけではなく、日本の伝統的な文化である落語の講演会にも誘っていただいて、初めて落語の魅力を感じることができました。昔の言葉が入って少し難しかったところもありましたが、演者の高い演技力で問題なく楽しめることができ、また参加者の方からも実際に落語を演じるコーナーがありまして、非常に楽しかった。

たです。

最近さいきんは、大久保たく ほうもんさんのお宅おうちに訪問せんせい いっしょすることができ、先生いと一緒に生け花い ぼなを体験たいけんしました。先生いげばなは生花せんもんかの専門家せんもんかであるので、基礎知識きそちしきから色々いろいろと教えておしいただきました。また、先生う k l e l eのウクレレ演奏えんそうや油絵あぶらえを鑑賞かんしょうしたり、先生むかしの旅行写真りょこうしゃしんを見ながら話みしながら話はなし合あったり、非常ひじょうに楽しい週末しゅうまつを過すぎました。

また短い時間みじかでしたが、RKK と、素敵すてきな大久保たく ほうもんさんと出会うことができ、大変たいへんなコロナ状況じょうきょうでも、2年間の留学生活じゅうじつを充実じゅうじつして過すごせると思い、将来しょうらいのことに楽しみたのしみにしています。(原文げんぶんのまま)

留学生の皆さんへ／To International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・ 日常会話 (Daily Conversation)
- ・ ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・ 卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Theses & Reports)
- ・ 新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・ 日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・ 就職活動 (Job Hunting ・ Entry sheets/Interviews)



Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact: 津田(Tsuda) e-mail sakura_tsudakei@ybb.ne.jp

Home Page : <http://rkk.world.cocacn.jp/>

Scan the right code for getting the application form.

活動グループ紹介

文化・ファミリー交流グループ

コロナ禍の活動を振り返って

ぶんか f a m i l y こ う り ゅ う g r o u p 徳屋英生

対面、フェイスツフェースの交流を基本とする文化ファミリー交流の活動はコロナ禍の下、大きく制約を受けた。日常の個別交流については新規留学生の来日が大幅に減少し、新規にファミリー交流を望む留学生は少数でした。その結果、交流もオンラインによるものが少数見られるにとどまった。一方全体的な行事活動も制約を受けお花見、七夕祭り、文化祭等すべて中止となり国大観月会も中止となった。

このような厳しい状況だったが、オンライン開催された明学戸塚まつり(5月30日)には富志乃さん、張テンさんがzoomに参加し琴演奏を行ない RKK の紹介を行いました。フェリス女学院大学の留学生発表会(7月20日)がオンラインで開催され RKK よりは6名が参加した。発表者は2名と少なかったがコロナ禍の不自由な生活にもかかわらず有意義な留学生活を送ったことがしのばれた。9月8日には国大IMP 留学生のオンライン発表会が開催された。一昨年来日した14Cの学生5名(パキスタン2、インドネシア、バングラデッシュ、Sri Lanka)でその研究は建築材料であるコンクリートに関する研究が主流ではある、が電気自動車の普及に関する研究など時代を反映したものもあった。RKK よりは5人が参加した。

日本語支援グループ

ヤスミンさんとの交流

にしちく 西地区 石村文鏡

いっさくねん がつ ふつ じかん あま にほんご speechたいかい で がくせい しどう ほ 一昨年の10月、布津さんから「時間が余りないが11月の日本語スピーチ大会に出る学生を指導して欲しい」と依頼があり、引き受けたのがブラジル人のヤスミンさんとの出会いでした。

その後、二人の都合の良い時に1時間の約束で授業は進められましたが、いつも時間以上に続き、内容は彼女のレベルに合わせて、日本のしきたりや歴史を中心に、ブラジルの行事や食べ物の紹介等で進んでいきました。授業の後、他愛の無いおしゃべりをしたり、彼女の夫も参加してラーメンを食べに行ったりしました。日系三世の夫は日本語が話せず、彼女の通訳で会話したりして楽しい時を過ごしました。

2020年2月14日、ヤスミンさんと夫は春休みで帰国し、3月14日に日本に戻る予定でした。残念な事にコロナの感染拡大で日本に戻れなくなってしまいました。ブラジルに帰る時には想像もしていなかったので、連絡方法もないままに時が過ぎ、連日ニュースでブラジルの感染者数が報道され、心配でした。そんな時やつとラインが繋がるようになり、それからはラインでのやり取りが始まりました。去年の10月にやっと日本に戻つたと連絡があり、zoomでのレッスン再開となりました。ヤスミンさんはこの秋、博士課程に進学の予定です。その前に会いたいと約束をしましたがコロナ感染拡大が続いていますので中々会う事が難しく、オンラインでしか会えないのでは無いかと残念に思っています。

オンライン講習会開催

日本語支援G 布津甚大

こんかい にほんごしえん はじ online こうしゅうかい かいさいいた どうじつ すいしんいんかい 今回、日本語支援Gとしては、初めての試みとしてオンライン講習会を開催致しました。当日は、ICT推進委員会の協力を得て会員の方々、各地区のスタッフの方々の参加を頂き、外部専門講師を招いて講習会を開きました。参加者はZOOMの有効利用法、ホストの役割、その他幅広い知識の習得に2時間にわたって熱心に受講致しました。2ヶ月前からコロナの感染拡大により一気にオンライン化の新しい時代がやってきました。

だいがく じゆぎょう はじ けいざいかい ざいたくworkなど いちれい りゆうがくせい めんせつ おい こうりゅう 大学の授業を初め、経済界の在宅ワーク等もその一例です。留学生との面接に於てはオンラインでの交流と、時々対面での二面性を要求して来ます。従って我々はその要求に応える事は必要不可欠で有り、留学生なきRKKの存在は有り得ません。現在参加者全員にアンケートの提出を依頼しており、今後の日本語支援G活動の一環として参考資料と致す予定です。

よこはま夢ファンドのご案内



横浜市にはボランティア団体の活動支援を目的とした“よこはまファンド”という制度があることをご存知でしょうか。本ファンドへの寄付を通じてRKKの活動を支援して頂きます。ご協力をお願いします

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/tishin/shiminkatsudou/fund/>



中国語学習グループ

ちゅうごくご えん
中国語に縁して

中国語学習 G 大塚 翠

ある映画がきっかけで、習い始めた広東語の先生として出会ったのが
横浜国大の留学生S君でした。大学卒業後、彼は北京で日本語学校を開校
。彼の誘いもあり、北京で中国語にどっぷりと浸ってみようと決意し、3
カ月の短期間でしたが北京での生活を体験しました。その頃には、広東語
から普通語に切替えていましたが、会話は挨拶程度というレベルでした。
当時（2007年）の北京はオリンピックを前にして、街中が活気づい
ていました。



駅のホームの壁には「文明乗車」と書かれたスローガンが大きく貼ってあ
り、ホームには整列乗車を見張る係員までいるのですが、電車が入線してくると整列乗車も虚しく我先に乗り
込むという有り様。朝の通勤時間帯の乗り換え階段にも我先に殺到するため、下り口に人が詰まってスムーズに
進めないという笑い話のような光景を毎朝目撃しました。

日本に居る時もよく道を聞かれる私は北京でも同様に道を聞かれ、その都度『日本人』の発音が上手く出来ない
ので、「我是外国人」と答えていました。欧米人なら見た目が違うからこんな苦労は無いのと思ったものです。
北京滞在中は、生徒達が授業のない時も私と日本語の会話練習をしたがため、中国語に浸るよりも毎日が日
本語の勉強になってしまいました。一日も早く日本語を上達させて日系企業で就職して、親に恩返ししたいと
貪欲に学ぶ彼らには、頭が下がる思いでした。結局、中国語はまるで上達しませんでした。日本語の文法を
外国人に説明するのに苦労した事がきっかけで、RKK主催の日本語の教え方講習会に参加し、そこで現在の中
国語クラスに縁が繋がっていきました。コロナ禍という厳しい状況ですが、ZOOMでの授業によって、内容が更
に充実した気がします。今年の春からは、新しい先生に変わり、実践重視の授業内容になりました。レベルが
高く、ついて行けるか多々不安ですが、いくつになっても向学心を失わない諸先輩の姿に毎回圧倒されなが
ら、参加しています。中国語学習を始めたおかげで様々な縁が結ばれました。これからも世界が広がるように努力
をしたいと思います。



留学生と語り合う会ベトナム語講座の開設について

企画委員会ベトナム語講座世話人 山壽令氏



RKK留学生会員を講師とする「RKKベトナム語講座」を9月5日に開講しまし
た。講師は横浜国立大学大学院社会科学系博士課程に在籍のブン ティ シュアン
フォン先生です。講義内容はベトナム語入門で、新型コロナウイルス禍を避けるため、
授業は当面月4コマでZoom onlineでスタートしました。現在の受講者は12人
の初心者で、やる気十分な「粹人」です。フォン先生は元気潑刺、理解しやすい

授業カリキュラムを考えて熱心に授業を進められています。皆様が何時でも参加出来るように門戸を開いており
ますのでご希望の方は申し出てください。

委員会情報

c i l o n a か 2 ね ん め だいがくせい しゅうかつじょうきょう
コロナ禍2年目・大学生の就活状況は

career しえんいんかい
キャリア支援委員会 松井 直子



コロナ禍2年目の就活の状況は、企業側、生徒側両方共にオンラインに慣れてプラスの気持ちで臨んでいる事がわかりました。

ことし とくちょう
今年の就活の特徴

- 採用環境が厳しい一部業種を除けば、全体的に採用を増やす企業（25%）が減らず企業（19%）より増えている。売り手市場である。（「ディスコの情報」）
- 優秀な学生を囲い込む動きは年々拡大していて、採用の早期化が進んでいる。
- 地方の優秀な学生とも接点を持つことができ、コストを削減できる採用のオンライン化がすすんでいる。

じんざいぞう
企業の求める人材像

○オンラインをうまく利用し自分をアピールできる力を持った学生。物事をロジカルに進められる人材に目が向けられている。

ぞう
学生側が求める企業像

○依然として安定性を求めて大企業指向だが、副業解禁、在宅ワークなどの若者の価値観に合ったプロモーション能力を持った企業が若者を集めている。

たいとも
留学生、日本人学生に対し共に言えること

○ビジネスはことばの力が大切。会話だけでなく、相手をひきつけるよりよい表現力を身に付けるとよい。（数か国語を身に付けている留学生は有利かも）

じ こぶんせき げんごか けいけん まな おや ゆうじん
○OESは自己分析をしっかりと。相手がわかるように言語化すること。経験から学んだことは大切だが、親や友人・教師（含むRKKのチューター）などから自分の良い部分を取材し客観的な分析も必要。

intern どあ あいだ き case
○企業研究は大切。インターンでの体験などを通して、就業意識や企業理解の度合いが学生の間で差がつくケースが多い。

*RKKのキャリア支援委員会では留学生の皆さまの就職活動をバックアップしています。

新入正会員の皆さま：よろしくお願ひします！

松田満理子（戸塚区）、中屋敷誠（藤沢市）、幅紀美子（藤沢市）（敬称略）

地区からの便り

しんにゆうかいいん むか
新入会員を迎えてなごやかに

北地区 松井 直子

きたちく ほんねんどさいしょ こうりゆうかい じっし
北地区では本年度最初の交流会を Zoom にて 7 月 10 日に実施しまし
さんかしゃ
た。参加者は 10 人でした。

1部 会員の交流および情報交換

3 月に入会された高崎さんが初めて出席されたのでお互いの自己紹介
をしました。皆さまの近況報告を含めた自己紹介は何回聞いても新鮮
です。

ご かつどう group いいんかい ほうこく あたら きかく vietnam
その後の活動グループ・委員会からの報告では、新しい企画のベトナム
ごがくしゅうかい しんせつ すいしんいんかい かつどうないよう わだい ちゅうしん
語学習会の紹介と新設された ICT 推進委員会の活動内容が話題の中心
になりました。「創意工夫で、新しいボランティア活動様式を！」という意気込みがよく伝わりました。

留学生との交流の様子もチューターから直接話がきける貴重な機会です。

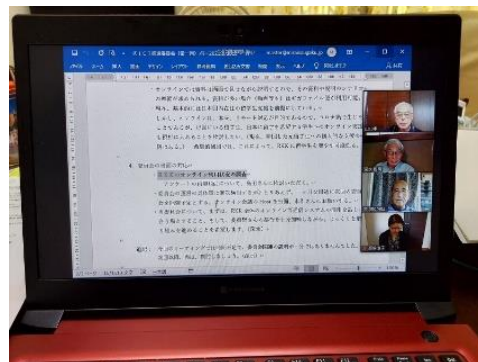
2部 次回の交流会の持ち方

こんかい いちばんじゅうよう かだい じかん つい けつろん
今回、一番重要な課題で時間も費やしました。結論としては、

第 2 回北地区交流会 2021 年 11 月 14 日（日）午後 2 時～5 時（予定）Zoom にて実施

- ・ 1 部 留学生とチューターとの話し合い
- ・ 2 部 留学生の話し合いをもとに会員の話し合い

北地区でも Zoom による会議が定着しつつあります。今回は途中で会議を 2 回繋ぎ直しましたが、ICT 推進委員会
のメンバーである島田さんのおかげで最後までスムーズに進めることができました。また事前に準備した資料を
画面で共有でき、リモートでありながらお互いを身近に感じられるのは Zoom の良さです。ただ、対面の良さも忘
れがたいです。新型コロナウイルスの感染状況次第ですが、そういう機会が早く訪れることを願っています。



RKK ホームページをお訪ねください

ホームページは随時更新しています。新設の「会員のひろば」は、広報誌のページにあります。

「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画など趣味の情報交換にも利用できます。掲載希望の会員はメッセージを RKK 広報委員会スタッフにお知らせください。

投稿先アドレス : <mailto:sugita1526@ybb.ne.jp>

掲載ホームページ : <http://rkk.world.coocan.jp/>

上記の URL を左クリック、または巻末の QR コードを読み取ってください。

広報委員会では皆様からの「会員のひろば」への寄稿をお待ちしております。

広報委員会

おもな活動 (2021/8 から 2021/10 まで)

スタッフミーティング

- ◇9/23 開催予定の 2021 年度第 2 回スタッフミーティングは、コロナ禍による外出・集会の自粛により、一同に会しての会議は取りやめ、各スタッフからの連絡メモを、21 ページにわたる連絡メモ集として編集し、メールで配信し、情報を共有した。

活動グループ

- ◇日本語支援 G : 9/26 オンライン講習会を開催。
- ◇文化・ファミリー交流 G : 7/20 フェリス女学院留学生発表会、9/8 横国大 IMP 研究発表会に参加。
- ◇中国語学習 G : 支老師のもと、オンライン授業に 12 人が参加。
- ◇社会・工場見学 G : コロナ禍により、見学会の企画は保留。

地区交流会

- ◇東地区 : 9/12 にオンライン交流会を実施。8 人が参加。
- ◇西地区 : 7/25 にオンライン交流会を実施。10 人が参加。
- ◇南地区 : メール、電話で会員の活動状況を収集。
- ◇北地区 : 各会員の状況を収集し、連絡メモを作成。
- ◇中央地区 : 9/30 に 6 人でオンライン交流会を実施。
- ◇湘南地区 : 9/17 にオンライン交流会を実施。9 人が参加。

委員会

- ◇会員委員会 : メールでマッチング状況を確認。会員名簿管理。
- ◇広報委員会 : RKK ニュース 85 号の編集。HP の更新。
- ◇キャリア支援委員会 : 9/6 オンラインにて委員会開催。9/13 第 2 回オンライン読書会実施。
- ◇企画委員会 : 新規事業として 9 月から週 1 回のベトナム語講習会を開催。12 人が参加。
- ◇会計委員会 : 収支決算・年会費入金管理。
- ◇ICT 推進委員会 : 留学生向けにアンケート調査を実施。
- ◇事務室 : スタッフミーティング連絡メモの編集・配信

NPO 法人 留学生と語り合う会

連絡先 : 〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

Eメール : rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax : 045-813-8327

ホームページ : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集 : RKK 広報委員会 秋号担当 西岡誉富 Oct.26.2021

